

機能毎の病床の状況について

病院名: 社会医療法人高清会 高井病院 医療圏: 東和

※H28年度の列は、別紙1－3「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R7年度、R8年度(2026年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

			(a) ＜H28年度＞ 許可病床数	＜R7年度＞ 許可病床数	うち、最大使用 病床数 (注1)	
一般 病床・ 療養 病床	高度急性期			20床	20床	→
	急性期	重症	164床	250床	217床	
		軽症	162床	54床	46床	
	回復期		50床	52床	46床	
	慢性期					
	休棟中 (今後再開する予定)					
	休棟中 (今後廃止する予定)					
	(合計)(自動計算)		376床	376床	329床	
精神病床						
結核病床						
感染症病床						
介護医療院						

(単位: 床)	
(b) 将来 (R8/2026年度) 病床数	(b-a) H28年度からの 増減 (自動計算)
20床	20床
250床	86床
54床	-108床
52床	2床
	0床
	0床
	0床
376床	0床
	0床
	0床
	0床

(注1) 最大使用病床数
・1年間(R6.4.1～R7.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

令和7年度 地域医療構想における具体的対応方針

1. 基本情報

病院名：社会医療法人 高清会 高井病院

医療圏：東和

2. 地域医療構想の実現に向けた自院の取組について

(1) これまでの地域医療構想や昨今の受領動向の変化、2040年頃を見据えた新たな地域医療構想の方向性を踏まえ、自院が地域で担う役割等について（現状と今後の方向性）

地域の急性期病院としてまた、紹介重点医療機関としての役割を引き続き担って参ります。高度急性期及び重症急性期病床を運営して行くにあたり、脳卒中、脳梗塞等の脳血管疾患、心筋梗塞等の心血管疾患、創傷治療等の充実を図り救急医療を軸として役割を果たします。また、放射線治療を中心としたがん治療にも積極的かつ継続的に取り組んで行きます。そのために放射線治療機器（陽子線・リニアック・ガンマナイフ）等の施設整備並びに設備更新を積極的に図りつつ手術や化学療法も併せて総合的に対応して行きます。

(2) 今後、増加が見込まれる高齢者救急への対応について

高度急性期並びに重症急性期への対応を図りつつ、当院の回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟を利用して自宅復帰を促します。

また、自宅復帰された患者に対しては、訪問看護と訪問リハビリでしっかりとフォローして行きます。在宅療養後方支援病院としての役割を果たすべく、近隣の病院、医院や施設等との連携を強化し、在宅患者や施設入所中の患者が急変した時の後方支援病院としての役割もしっかりと果たして参ります。

(3) 今後、増加が見込まれる在宅医療需要への対応について

※提供体制強化や体制整備の予定等ありましたら合わせてご記載ください

前述の通り、在宅療養後方支援病院としての役割を果たすべく、近隣の病院・医院・施設等との連携を強化し、在宅患者や施設入所中の患者が急変した時の後方支援病院としての役割もしっかりと果たして参ります。

(4) 今後の医療従事者の確保や医療提供の維持に向けた方策、検討の状況について

※医療DX、タスクシフト・シェア等の取組状況がありましたら合わせてご記載ください

現在、医療従事者の確保に最も苦勞をしている現状であります。その様な状況の中で、今後に向けては、現在取り組んでおります人員配置の流動的なシフト体制や、医療DXを活用した人員不足を補う体制を更に活用の範囲を広げ、その上でAI機能の活用も積極的に図って参ります。

これまでの取り組んできました現職員からの医療スタッフの紹介活動を更に充実させるとともに、シニア世代の積極的な活用と人材派遣会社からのスタッフの部門を限っての活用も併せて取り組んで行きたいと考えております。

3. 各領域の対応状況について

※以下[1]～[15]の領域の今後の方向性について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものにチェックをつけてください。

[1]がん

[1-1]当該領域について対応しているか？

[1-2]手術の実施

肺：呼吸器；消化器；乳腺；泌尿器；（女性）生殖器

[1-3]化学療法の実施

[1-4]放射線治療の実施

[1-5]拠点病院等の指定

指定されていない

[1-6]特記事項

当院ではがん治療に対しては、手術・化学療法と併せて陽子線治療、リニアック、ガンマナイフの設備を整え、放射線治療に注力しております。
上記指定等は受けておりませんが、今後につきましては、「奈良県地域がん診療連携支援病院」を目指して参ります。

[2]心筋梗塞等の心血管疾患

[2-1]当該領域について対応しているか？

[2-2]24時間心血管疾患の急性期医療の実施

[2-3]緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施

[2-4]経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施

[2-5]心疾患に対する外科手術の実施

[2-6]冠動脈バイパス手術の実施

[2-7]急性大動脈解離の手術の実施

実施していない

[2-8]大動脈瘤手術の実施

[2-9]心血管疾患等への早期リハビリ

[2-10]特記事項

カテーテル治療につきましては、充実した体制を確保することで24時間365日切れ目なく対応することが可能です。

外科手術につきましては、体制を強化している最中であることから、今後体制が整い次第上記未実施の領域も対応することができるものと考えています。

[3]脳卒中等の脳疾患

[3-1]当該領域について対応しているか？

[3-2]脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施

[3-3]脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施

[3-4]脳出血（くも膜下出血を含む）への対応

[3-5]くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術

[3-6]くも膜下出血に対するコイル塞栓術

[3-7]脳出血に対する開頭血腫除去術

[3-8]脳血管疾患等への早期リハビリ

[3-9]特記事項

脳・頭の疾患につきましては、24時間365日対応すべく、これまでの取組を充実させるため当院では令和4年より「1次脳卒中センター（PSC）コア」の施設認定を受け取り組んでいる最中であります。

今後につきましても、近隣施設との連携を強固なものとし、コア施設としての役割を十二分に果たして参ります。

併せて脳血管リハビリについても早期に積極的に対応して参ります。

[4]救急医療

[4-1]当該領域について対応しているか？

[4-2]救急告示病院の指定を受けているか？

受けている

[4-3]大腿骨骨折への対応

[4-4]病院群輪番制への参加

参加していない

[4-5]小児科病院二次輪番体制への参加

参加していない

[4-6]特記事項

当院におきましては、脳疾患・心臓疾患・外傷疾患を中心に24時間365日救急受入が可能な体制を敷いております。

また、在宅療養後方支援病院として、近隣病院、施設、在宅からの急変時における救急受入れに関しましても積極的に対応しております。

今後につきましてもこれまで同様積極的に対応して参ります。

ただ、小児救急、精神疾患の領域につきましては、体制が確保できておりませんので対応は困難かと考えております。

[5]リハビリ

[5-1]当該領域について対応しているか？

[5-2]回復期リハビリ病棟入院料届出の有無

有り

[5-3]上記が有りの場合、届出病床数

52

[5-4]訪問リハビリの実施

[5-5]通所リハビリの実施

実施していない

[5-6]今後の方向性

当院におきましては、運動器リハビリ、呼吸器リハビリ、廃用症候群に加え、脳リハビリ、心臓リハビリに注力しております。

特に心臓に関しましては、院内の呼吸器リハビリ、廃用症候群に加え、脳リハビリ、心臓リハビリに注力しております。

特に心臓に関しましては、院呼吸器リハビリ、廃用症候群に加え、脳リハビリ、心臓リハビリに注力しております。

特に心臓に関しましては、院内の呼吸器リハビリ、廃用症候群に加え、脳リハビリ、心臓リハビリに注力しております。

特に心臓に関しましては、院内のフィットネス施設を有効に活用し、心臓リハビリ終了後の患者に対して運動フォローを積極的に実施しています。

訪問リハビリへの取組も徐々にではありますが需要に応えることで増加しております。

[6]在宅医療

[6-1]当該領域について対応しているか？

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

[6-2]在宅療養支援病院の届出の有無

無し

[6-3]在宅療養後方支援病院の届出の有無

有り

[6-4]特記事項

在宅療養後方支援病院としての役割を果たすべく、これまで積み上げてきました急性期医療の体制を継続し、近隣病院・医院・施設からの急変時の救急受入れを引き続き積極的に対応して参ります。

[7]訪問看護

[7-1]病院看護師が当該領域について対応しているか？

[7-2]同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？

ある

[7-3]上記でありの場合、その名称

訪問看護ステーション帆帆

[7-4]特記事項

訪問看護につきましては、退院後の患者からのニーズに応えるべく令和3年より取り組んでまいりました。現在では小規模ながら24時間365日対応できる体制を構築し取り組んでいる最中であり、今後も引き続き体制を維持し対応して参ります。

[8]ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

[8-1]「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）について
定めている

[8-2]特記事項

上記指針を定め、患者・家族の意向を傾聴し尊重した医療ケアの方向性となるよう病院全体で取り組んでおります。

[9]小児医療

[9-1]当該領域について対応しているか？

[9-2]小児入院医療管理料の算定

算定していない

[9-3]新生児特定集中治療室管理料の算定

算定していない

[9-4]医療的ケア児を受け入れている

受け入れている

[9-5]特記事項

小児科では分娩に対応しております産科と連携して予防接種・健診等への対応や外来診療に対応しております。

しかしながら、限られた体制での対応となることから、今後につきましても小児外来等への対応はできますが、NICU等の小児科入院、小児救急への対応は困難かと考えております。

[10]周産期医療

[10-1]当該領域について対応しているか？

[10-2]分娩の取扱い

[10-3]ハイリスク分娩管理加算の算定

算定していない

[10-4]特記事項

現在、通常分娩を中心に対応しており、今後につきましても同様に地域での分娩施設での役割を果たして参ります。

[11]災害医療

[11-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[11-2]災害拠点病院の指定を受けているか？

—

[11-3]DMAT指定病院の指定を受けているか？

—

[11-4]E M I S（広域災害救急医療情報システム）への参加

—

[11-5]特記事項

災害支援ナースの登録を行い、研修ならびに訓練への参加は積極的に行っております。

[12]へき地医療

[12-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[12-2]へき地医療拠点病院の指定を受けているか？

—

[12-3]特記事項

—

[13]医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

[13-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[13-2]基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？

—

[13-3]協力型臨床研修病院の指定を受けているか？

—

[13-4]臨床研修協力施設であるか？

—

[13-5]専門研修の基幹施設であるか？

—

[13-6]専門研修の連携施設であるか？

—

[13-7]特記事項

近い将来、分野は限られますが、専門研修の基幹施設の指定を受け、専門医の育成を行い、奈良県下における医師充足の一端を担いたいと考えております。

[14]医師の働き方改革

[14-1]医師の宿日直許可の取得状況

取得済み

[14-2]上記で一部の場合、その範囲

取得済み

[14-3]特記事項

宿日直許可の取得は、一般救急部門ならびに心臓血管部門での取得となっております。

[15]看護職員の研修機能

[15-1]特定行為研修の指定研修機関の指定申請予定はあるか？

ない

[15-2]特定行為研修の協力施設の申請予定はあるか？

ある

[15-3]特記事項

現在、奈良県立医科大学付属病院の協力施設として研修の一部を受入れさせてもらってます。今後も継続して対応して参ります。